

中学校

- 主題名 心の弱さを乗り越えるために（D よりよく生きる喜び）
- 教材名 「銀色のシャープペンシル」
- ねらい 人は誰もが弱さや醜さをもっていることを理解するとともに、それを乗り越え自分に恥じない生き方をしようとする態度を育てる。
- 学習指導過程

	学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	具体的な指導・援助
導入 1分	<p>1. 今日の授業の予告をする。</p> <p>○今日は自分の心の弱さを乗り越えようとした主人公のお話です。</p>	<p>◇発問で生徒にしっかりと考えたり発言したりする時間を確保したい場合は、あえて導入を入れないことも考えられます。</p>
展開 47分	<p>2. 教師の範読をきく。</p> <p>3. 感想を交流する。</p> <p>○このお話を読んで、何を思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公がずるい。 ・■（場面）で■（行動）したところがだめだと思う。 ・悩んだ末に卓也の家に謝りに行ったところはいい。 ・人のせいにしてしまうことは自分にもある。 <p>◇感想をきくだけの、いわゆる「読み取り」にしないために、生徒に挙手させるなどして、自分はどの意見が一番近いかを確認すると、より深い自己理解につながります。</p> <p>4. 人間理解の発問をする。</p> <p>○夕食を済ませ、ベッドにあおむけになった「ぼく」は、どんなことを考えていただろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャープペンは返したのだからもういい。 ・シャープペンを取らなければよかった。 ・誰にも見られなかったかな。 ・明日どんな顔で会えばよいかな。 ・明日学校へ行きたくないな。 <p>5. 価値理解の発問をする。</p> <p>○（4で、生徒から出た意見を総括して）これだけ悩んだ「ぼく」は、卓也の家に向かって歩き出した時、</p>	<p>◇範読の前に、登場人物やあらすじ等を簡単に伝えておくことで生徒が内容を理解する手助けになることもあります。</p> <p>・内容を理解しているかの確認も兼ねて、簡単に聞く。</p> <p>・抽象的な発言には「なぜそう思ったの？」「ちがう言葉で言ってみて」等、問い返すことも重要です。</p> <p>☆補助発問（自己理解） （生徒から出された意見に対して） 「みんなは、どの気持ちが一番共感できますか？」</p> <p>◇生徒から出た感想を引用する形で問うと、生徒の思考が途切れず、授業の流れがスムーズになります（「〇〇さんが～って言っていましたが、そのときの『ぼく』はどんな気持ちだったでしょう？」等）。</p> <p>◇生徒から出る意見を、あらかじめ予想し分類しておくことで、板書がスムーズにできるようになります。</p> <p>☆補助発問（価値理解） 「『ぼく』は、どうして卓也に謝りに行ったのでしょうか？」</p>

	<p>どんなことを考えていたでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝りに行こう。 ・本当のことを言おう。 ・もう人のせいにはしない。 ・何も悪くない卓也が謝るなんておかしい。 ・このままでは罪悪感でいっぱいになる。明日から気まずいし、何より自分に対してけじめがつかない。 <p>6. 今までの自分について考える。</p> <p>○あなたは、自分の心の弱さを乗り越えるために、何か考えたり、こだわっていたりすることはありますか。</p> <p>◇自分との関わりを大切にするための指導です。</p>	<p>『ぼく』は、どうして本当のことを言おうと思ったのでしょうか？」</p> <p>→生徒の反応が謝罪だけに留まっている場合は、補助発問で価値理解に迫ります。</p> <p>◇「友情、信頼」「正直、誠実」の学習にならないように注意します。本時のねらいとする内容項目を明確にもっているかが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・生き方にかかわる事例の紹介をして、自己を見つめやすくする。
<p>終末2分</p>	<p>7. 教師の失敗談、それを乗り越えてよかったと思う生き方、経験について語る。</p>	<p>◇終末は、生徒一人一人が、自らの道徳的な成長や明日への課題などを実感でき、確かめることができるような工夫が求められます。</p> <p>◇そのためにも、日頃から新聞記事、本などから材料集めをしておくことが大切です。</p> <p>◇生徒への叱責、訓戒や行為、考えの押し付けにならないよう注意する必要があります。</p>

<板書計画>

心の弱さを乗り越えるために

謝りに行こう
 今までみたいに人のせいにはしない
 嘘をついたままにしておきたくない
 本当のことを言おう

卓也の家に向かって歩き出した「ぼく」

返したからもういい
 なんてポケットに入れてしまったのだろう
 誰かに見られなかったかな
 明日学校行きたくないな
 どうしよう
 本当のことを言おうか
 どんな顔で

ベッドにおおむけになった「ぼく」

3人の絵

ポケットに入れたらまずい
 あやまったらいいのに
 確かに言い出しにくい
 よく似たことがあった

第〇〇回道徳
 銀色のシャープペンシル

第 回 道徳「銀色のシャープペンシル」

年 組 番 名前 ()

○夕食を済ませベッドにあおむけになった『ぼく』は、どんなことを考えていただろう。

○あなたは、自分の心の弱さを乗り越えるために、何か考えたり、こだわっていたりすることはありますか。
